

小室みえこの議会レポート

表1 区別税率及び金額

(東葛6市)

順位	保険者名	所得割 (%)	資産割 (%)	均等割 《40歳以上の大人》 (円)	均等割 《40歳未満》 (円)	平等割 (%)
1	野田市	10.5	5	48400	36000	13000
2	柏市	9.9	0	49000	36200	25000
3	松戸市	11.37	0	38400	25500	18000
4	流山市	10.5	0	36000	23400	15600
5	我孫子市	10.8	0	34800	22200	18600
6	鎌ヶ谷市	10.52	0	34000	21000	21600

国保は所得割、資産割、均等割、平等割の4方式の合算で算出されます。(表1～表3は平成26年度)
表1から保険税を決める区分税率が保険者(自治体)によって異なることが分かります。



他市と比べてみると

表2 均等割の高い順位

(千葉県54市)

順位	保険者名	均等割 《40歳以上:円》	均等割 《40歳未満:円》
1	南房総市	57400	40400
2	九十九町	55000	42000
3	大網白里市	53000	40000
4	芝山町	53000	40000
5	鋸南町	52173	37911
10	野田市	48400	36000

表2は均等割(加入者の人数によって賦課)の高い順です。
表3は逆に均等割の低い順です。
野田市の一人分は、一番低い浦安市のおおよそ三人分に匹敵します。今、どこに負担軽減のスポットを当てるべきか? と言えば、子育て世代ではないでしょうか? 国民皆保険の制度の中で国保の加入者は大きく変わり、高齢者や非正規で働く所得の低い被保険者が多くなりました。社会保障としての制度に立ち返る必要があります。

表3 均等割の低い順位

(千葉県54市)

順位	保険者名	均等割 《40歳以上の大人》(円)	均等割 《40歳未満》(円)
1	浦安市	25000	13000
2	市川市	25200	18000
3	千葉市	33360	23160
4	長南町	33900	27900
5	鎌ヶ谷市	34000	21000
44	野田市	48400	36000

また、都道府県化に伴い、資産割を廃止していく傾向にあります。東葛6市の中で、資産割を設けているのは野田市のみとなっています。平成27年度に千葉県内で資産割があるのは6町12市で一番高いのは多古町と東庄町の40%です。野田市の5%は18保険者のうち一番低い割合でした。廃止の流れから他の区分に振り分けていくことになりそうですが、厳しい判断が求められます。



◆臨時福祉給付金及び子育て世代臨時給付金 消費税を8%に上げることを前提とし対象を限定して申請方式で給付されましたが、これまでも消費税が上がった分、法人税・高額所得者の減税が行われており税の累進性が機能不全となっています。

◆合併特例債の使い道に疑問 合併後の旧関宿町、旧野田市の2つの自治体の格差は、合併特例債を利用してもその溝は埋まったのでしょうか? 関宿にお住まいの方からは何のメリットも感じられずその差は広がったという声を聞きます。

◆プレミアム商品券事業 この事業の目的は「個人消費のテコ入れと地方経済の好循環を図り全国津々浦々に拡大していく」でした。その分析は4500人対象のアンケート(回収率は46.2%) 回答から、前から欲しかったものが買えたとし、経済効果が上がったと結論づけました。しかし、その分析は非常に甘く政府の言う好循環には程遠いものです。野田市に経済効果があったとする認識には納得できません。期限付きの商品券の為、一時的に消費が増えただけで、国に苦言を呈するくらいの報告をすべきです。